

EHO! PRESS
(NEWS LETTER)

西京区総合庁舎整備に向けたワークショップ 第4回

まとめ

vol. **4****10.19 SAT 13:30-16:00**

えほー

の意味は、第1回
のニュースレター
を見てね



WORKSHOP



**これまでの内容を楽しくふりかえり、
イメージの共有と意見交換をしました。**

今回でワークショップも最終回。前半では、これまで3回のワークショップで話し合ってきたことをふりかえり、色んな意見が出てきたことを改めて確認しました。後半では、その意見をもとにつくったイメージ図を紹介。自分の意見がどのように反映されているかを確認し、よりよくなるための意見交換をしました。

参加者：約 40 名

会場：西京区役所 大会議室

—— 本日のメニュー Today's Menu ——

1. はじめに
2. これまでの意見をふりかえろう
3. イメージお披露目
4. 意見交換
5. 感想共有
6. おわりに／記念撮影



1 プログラム紹介

第4回ワークショップの流れについて、テキストと写真を添えてご紹介します。

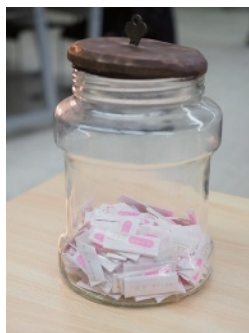
13:30

これまでの意見をふりかえろう

えほー！なアイデアとデザインを紹介

おみくじ状のツールを使い、 楽しくふりかえろう！

今回のツールは「おみくじ！」。これまで出た意見を約120種類にまとめ、おみくじとしてデザイン。おみくじの特徴は、引いてみるまで何が出るか分からないことと、引いたものが自分ごとになること。それを活かし、他の人の意見を深く味わってもらいやすいよう、おみくじ形式で意見をふりかえることにしました。



STEP-1 おみくじを引く

まずはボックスから2枚おみくじを引きます。何が当たるかはそのときの運。ワクワクドキドキしながらおみくじを引いてもらいました。



STEP-2 おみくじを見せ合う

おみくじを引いたら、開けて中にどんなことが書かれているかを確認。自分の確認が終わったら次はグループ内で、どんなおみくじだったか、広げて見せ合います。



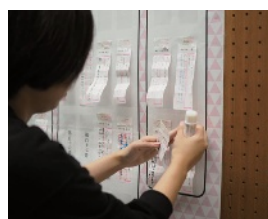
STEP-3 コメントを書く

おみくじには、書かれている意見に対する自分のコメント（感想）を書き込める欄が用意されています。そこに自分が感じたことを、なるべく具体的に書き込みます。



STEP-4 大きなシートに貼る

書き終わったら、会場に用意してある大きなシート（縦120cm、横270cm）におみくじを貼っていきます。シートには番号と枠が用意されており、自分が引いたおみくじと同じ番号を探し、それぞれのおみくじを貼っていきます。



14:15

イメージお披露目

これまで出た意見を元に、新しい総合庁舎及び周辺環境のイメージパースをつくり、それを参加者と共有しました。9つのシーンを紹介し、その後参加者同士で意見交換をしてもらいました。



門川市長が来てくれました。

門川市長が会場にいらっしゃり、ワークショップの様子をご覧になりました。参加者に向けてコメントをいただきました。

市長より一言

4回にわたる皆さんの熱心な議論に感謝。

西京区は、新しい区であるが故に、西京区役所は本市の中で、最後の総合庁舎化となりました。その分、新しいものを存分に取り入れることができるチャンスです。皆さんの意見を大切に、新しい西京区役所がまちづくりの拠点として、区民の皆様のつながりがより深まり、笑顔あふれる施設にしていきたいと思いますので、今後ともよろしく願います。



STEP-1 イメージを共有する

各テーブルで9つのシーンを共有します。



STEP-2 意見を出し合う

それぞれのシーンについて、「ここが良い!」「こうすればもっと良くなる」を話し合い、ポストイットを使って意見を書き込んでいきます。



STEP-3 話し合いの内容を発表する

それぞれのグループの代表者が話し合いの内容を発表。特に良いと思ったこと、気になったこと、その他感じたことを伝えます。



ワーク結果は次ページへ

15:20

感想共有

最終回のため、参加者一人ひとりに、これまで参加して感じたことや、他の参加者に伝えたいことを話してもらいました。



15:55

まとめ／おわりに

発表後、進行役から全体のまとめを伝え、最後に閉会挨拶として、宮崎西京区長からこれまでの総括と感想を述べました。

区長より一言

皆さんが熱く意見交換される様子を見て、心強く感じるとともに区民の皆さんに愛される区役所づくりへの思いをより強くしました。

これまで区役所に求められる役割は住民票を取ったり、福祉や子育ての手続きに行く場所であったかと思いますが、今では地域交流の拠点といったものに変化してきていることを強く感じました。今後、区民の皆さんが求める役割を担い、地域の活性化に資する区役所を目指してまいります。



2 ワーク結果

9種類のイメージパースを見せ、各テーブルで話し合った内容をまとめました。

※このパースはワークショップの意見をまとめたイメージであり、実際の設計とは異なります。

1. アプローチ空間



総合庁舎と周辺を一体化するというアイデアによって、このアプローチが新しい総合庁舎の顔となります。子どもやお年寄りが安心して過ごせるよう歩行者優先道路にしたり、木陰のあるテラスや、休んだり待ち合わせ場所にもなれるベンチ、印象的なシンボルツリーなど、過ごしやすい場所づくりを強く意識しています。

【ここが良い！】

- ・道路、歩道、ウエスティを一体的に整備するのは良いアイデア
- ・歩行者優先道路になることで、車はゆっくりと運転しそう
- ・ベンチが様々な場所にある ・緑が多い ・安心して歩ける
- ・道路と敷地の段差がない ・新庁舎の入口が北側にあること

【こうすればもっと良くなる】

- ・屋根がある（光は入る） ・街路樹を季節感がでるものに
- ・シンボルツリーではなくモニュメント ・外灯を増やす
- ・舗装が統一されていると、誘導されて目的地に向かいやすい
- ・歩車分離をしっかり ・執務スペースが外から見えないように
- ・上桂駅までのバリアフリー経路であることを意識
- ・高齢者のくつろぎ（もたれたり休んだりできる）

2. エントランス前



エントランス周りは、中に入りやすい雰囲気をつくりだすとても大切な空間です。この場所を介して、中と外との関係性がより一層魅力的になってもらいたいとの思いから、前面道路に沿う形でオープンテラスとデッキを設けています。この場所は、用事がなくても過ごすことができます。

【ここが良い！】

- ・シンボルツリー等、木々が植えられホッとできる
- ・雨に濡れない ・エントランスが北側にある
- ・全面ガラスのため、明るく、オープンでにぎわいも出そう
- ・庁舎前スペースでマルシェも出来そう

【こうすればもっと良くなる】

- ・屋根がある（光は入る） ・日陰になる高木を多く
- ・屋外に向けて情報発信できる電光掲示板がある
- ・テラスやデッキが建物の北側にあり、日影の時間が長そう
- ・情報スペースなどのほうが向いているのでは
- ・入口すぐに（やさしい）総合案内を
- ・（ベビーカーでも使える）エスカレーターを

3. 区民交流スペース①



入口を入ってすぐの空間に区民交流スペースがあることで、室内に入りやすくなるだけでなく、夜や土日・休日にも出入りできる可能性があるのではと考えています。また、外から中の様子がよく見えるよう、ガラスを多く配しています。ここでの活動が見えるだけでなく、社会と自分とのつながりも感じることができるのではないのでしょうか。

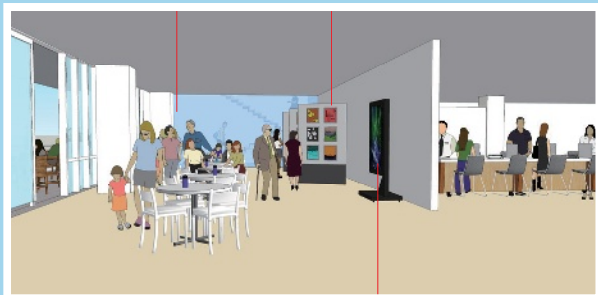
【ここが良い！】

- ・オープンスペースでいろいろな使い方ができそう
- ・屋内外のつながり ・採光が工夫されている

【こうすればもっと良くなる】

- ・やわらかい素材の椅子がある ・手続きをどこでも待てる
- ・西京区のPRビデオが流れている ・地域の団体同士のマッチング
- ・作品を並べられる（展示台、ボードがある） ・障害者の作品展
- ・室内にも緑がある ・地域の子どもたちが描いた絵が飾れる
- ・読み聞かせコーナー、子どもスペースがある
- ・庁舎全体がギャラリーとして使える
- ・被災しない区役所 ・災害時に復旧の早い区役所
- ・スペースが自由に変化 ・外国人にも分かる案内板や情報発信
- ・リラックスできるオープンスペースに（雰囲気が少し硬い）

4. 区民交流スペース②



区民交流スペースは、屋外と執務空間の間に位置しています。そうすることで、区役所に用事がある際にも休憩できたり、付き添いで訪れた際にも気兼ねなくゆっくりすることができます。また、このスペースは、情報発信の場、地域活動交流の場として使われることも考えています。西京区の魅力を伝える、生活に必要な情報を紹介する、自分たちの活動をPRする、作品を展示するなど、様々なニーズに応えることのできる空間づくりが大切です。

【ここが良い！】

- ・気持ちの良さそうなカフェスペース ・空間を自由に使いそう
- ・窓口までの間にあること（気軽にふらっと立ち寄りそう）
- ・学生が集まりそう
- ・区民の作品の発表のスペースに活用できる

【こうすればもっと良くなる】

- ・視覚障害者向け音声ガイド ・カフェスペース（飲み物がある）
- ・コンシェルジュデスク（夜間・土日の見守り、ふらっと相談）
- ・執務スペースが表から見える ・ソファやくつろげる椅子
- ・大きな机があると交流しやすい ・子どものラクガキスペース
- ・（みんなが書ける）区の黒板 ・まちづくりカフェができる
- ・マグネットの壁 ・着物の着付けイベント（成人式）
- ・入口に照明（夜災害が起きた時に避難しやすい）
- ・充電コンセント ・畳のスペースがあると良い
- ・大きな掲示板とテレビ（緊急時は災害対策）
- ・統一感のあるきれいな貼り方（ギャラリー）
- ・少し色のついた壁（白内障の方向け）

5. 区民交流会議室



打合せだけでなく、活動の場や学習室としても使うことができる、多用途、多目的対応の会議室です。

【こうすればもっと良くなる】

- ・ガラス貼りで中の様子がわかり、広く感じられるように
- ・立ち会議ができる ・モニターを使いペーパーレス会議
- ・小さなテーブルを組み合わせて会議もワークショップもできる
- ・スタッキングできる椅子（ヨガ教室など広くも使える）
- ・会議室以外にも使える ・壁に直接文字を書ける（素材を変える）
- ・ホワイトボード、プロジェクター、Wi-Fi がある
- ・スライド式の仕切りを用いてスペースを多様化
- ・アイデアが出やすい設えや備品 ・学生が勉強できる
- ・壁や天井、床の色が面白い ・マグネットの壁

6. 周辺環境①



京都市西文化会館ウエスティの広場と新庁舎前の広場を一体化することで、より幅広い活動への利用が可能です。より利用しやすくするため、既存の広場に、屋根のあるスペースや子どもの遊び場、イベントや活動の場としても活用することができます。

【ここが良い！】

- ・憩いのスペースらしさがある ・歩行者専用は安全でGOOD！
- ・子どもの遊び場（水遊び）がある ・イベントが出来る
- ・点字ブロックが黄色で見やすい（弱視の方にもやさしい）
- ・子どもが遊べて大人もくつろげる ・安心して遊ばせられる

【こうすればもっと良くなる】

- ・芝生の広場やせせらぎ、井戸などがあると気持ち良さそう
- ・滑りにくい材質希望（広場、エントランス、通路）
- ・壁面でボルダリングができる（子どもも大人も健康づくり）
- ・設備を固定せず、人の動きに合わせて変えられる
- ・広い歩道 ・歩道部分と車道部分が分離されている
- ・災害時の拠点になる ・雨の日でも使える

7. 周辺環境②



ウエスティ前の広場には、西京区らしさを感じられる竹のスクリーンを配してみたいかがでしょうか。手前の道路と広場をゆるやかに分け、やわらかくつなげることができます。また、外から活動が見えることも意識し、より一層の交流の機会づくりが可能となります。

【ここが良い！】

- ・店があると雰囲気が良い
- ・竹のスクリーン（西京区らしさ、映える）
- ・ウエスティの広場と新しい庁舎の広場が1つになり、より大きな活動が生まれそう（例：西京区大マルシェ）
- ・緑（植物）が多い ・広場で西京区らしさ、和を感じられる

【こうすればもっと良くなる】

- ・たけにょんがいる（区役所に行ってもいないため寂しい）
- ・歩行者と自転車に分ける ・四季を楽しめる花や植物がある
- ・イベントや商用利用だけでなく、高校生の野菜販売や、作業所のクッキー販売などにも使えるキッチンカー
- ・死角がないようにしてほしい ・広い駐輪スペース
- ・シェアサイクルのステーション ・できるだけ竹を使う
- ・ウエスティと区役所の2階部分をつなげる

8. 周辺環境③



建物前の空間（広場）だけでなく、建物と建物の間の通路も大切な公共空間。細い空間だからこそ活動が生まれることを想像しています。また、通り抜けできることも大きなポイント。北側道路と南側道路をつなぎ、より歩きやすい、引き込まれやすい空間づくりを表現しています。

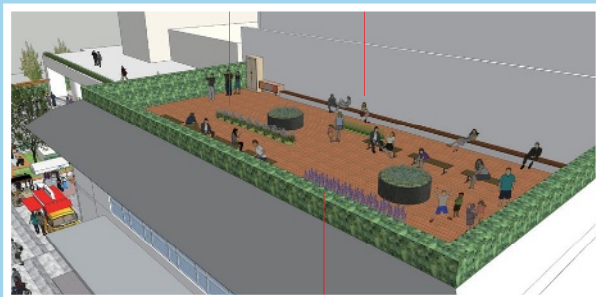
【ここが良い！】

- ・みんなが楽しく利用出来そう ・人の動きが活発になる
- ・にぎわっている感じが出る ・ふれあい祭を区役所でできる
- ・キッチンカーやお店がイベント時に店出できる
- ・北側と南側の道路が一体化したら便利になり、自然と人が訪れそう
- ・エントランスまでの動線がにぎわう

【こうすればもっと良くなる】

- ・バスケットゴールを常設する
- ・ダンス練習スペースになる（歩行者を邪魔しないこと）
- ・気軽にカフェを開いたり、やりたいことができる
- ・移動図書館が来てくれる
- ・地元の物を売ってアピールできる

9. 屋上



北側道路に接した部分には、日影規制がかかります。それによって生まれた屋上空間も有効利用。裸足で歩けるデッキテラスや、くつろげるスペース、また、1階での活動をゆっくりと眺めたり、夜は月や夜景を楽しめたりと、屋上ならではの活動が生まれることも考えられます。

【ここが良い！】

- ・待ち時間などに使用できる ・職員も屋上でゆっくり休める
- ・他者とのほど良い距離感もある ・ウッドデッキ
- ・北側なので、常に日影で涼しく感じそう

【こうすればもっと良くなる】

- ・四季を感じられるといい（もみじ、花壇など）
- ・パブリックビューイング（壁に投影） ・外からいつでも使える
- ・壁を使ってボルタリング ・ビアガーデン（夏場）
- ・部分的に日よけができるパラソルや屋根などがある
- ・雨をしのげる庇 ・ハンモック ・飲食できる店がある
- ・危険防止の柵・フェンスがある ・木陰をつくる木
- ・車いすの方や高齢者でも上がれるように

3 参加者の感想

今日の感想

- ・図面があることでイメージを共有しながら意見交換ができ、今後への期待が膨らんだ。
- ・毎回、皆さんの熱いトークが非常に楽しく、今日は最後で特に色々意見交換ができよかった。
- ・丁寧な積み上げにより、自由な意見、発想が湧き、創生された。
- ・仕掛け作りも面白く、意見が出やすい環境づくりが最高だった。
- ・明るい雰囲気で話し合いが進み、皆が協力的であったのが印象的だった。
- ・自分の意見を出せる場で良かった。
- ・参加した皆の夢が、形になり、計画につながりそう。これからが大切。
- ・子どもだけではなく「若者」という視点もしっかりと入れたい。
- ・屋上の活用についても、緑化をはじめ、いろいろな仕掛けがあると良い。
- ・ワークショップ終盤にも関わらず次々と市民の方からアイデアが出てくることに驚いた。
- ・フリースペースの大事さを感じた。建物の間の通路の使い方ももっと考えていきたい。
- ・ウエスティと庁舎が一体化していると感じられるような庁舎になってほしい。
- ・最後のワークショップでいろいろイメージが出来上がってきてわかりやすかった。
- ・若い人達の関わりがもっと多くなれば、より楽しみになる。

全4回を通じての感想

- ・1回だけでなくこのように4回かけて仕上げるのも大切だと感じた。
- ・自由にアイデアを出し合うことの大切さを改めて実感した。
- ・多方面からの意見がどのように取り入れられるのかとても楽しみ。
- ・このような活動に子育て世代の参加がもっと増えるといい。
- ・プロによる進行で毎回ワクワクした。
- ・視覚障害者の対応をしてくれて良かった。
- ・このワークショップ、まさに「共育」の場だった。
- ・毎回メンバーチェンジでいろいろな方の意見が聞けて参考になった。
- ・毎回、楽しいだけでなく勉強（学び）になった。色々な方との意見交換は本当に学びになる。
- ・毎回、運営の仕方に新しい発見があり、大変勉強になった。
- ・ワークショップという堅苦しいイメージがあったが、毎回楽しく参加できた。
- ・ニュースレターも分かりやすくまとめてあり、読みやすかった。
- ・区役所に対する市民の生の声を聴くことができ、多角的な視点から区役所を見ることは大切だと気づいた。
- ・毎回様々な工夫がなされていて楽しく、おかげで活発な意見交換ができた。
- ・地域の人たちと意見を交わすことができて良かった。また、西京区のキャラクターを知れて良かった。
- ・今まで参加したワークショップの中で最も楽しいものだった。
- ・今回だけでなく、今後も市民の意見をたくさん取り入れられる区役所であってほしい。



4 進行役からご挨拶

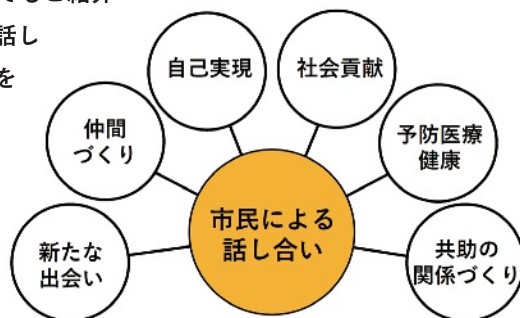


コミュニティデザイナー
内海 慎一
(LifeWork)

皆さん、全4回にわたるワークショップ本当にお疲れさまでした。最終回は、これまで話し合ってきたことのまとめでしたが、意見交換の時間が終盤に差し掛かってまだまだ話し合いが続いていきそうな様子に、このワークショップで積み上げてきたものの大きさを感じました。そしてきっと、建物に対する意見交換の機会としてだけでなく、新しい気づきや学び、つながりなど、多くのものを得る機会にもなったのではないのでしょうか。

右の図は、第1回のワークショップでもご紹介

させていただいた図です。市民による話し合いの機会では、テーマについて意見交換を交わし合えること以外にも、いくつも得られるものがあります。深く話し合うことで相手のことが理解でき、その後の良いつながりが生まれるかもしれません。つながりができ、仲間が増えることで、自分がやりた



かったことができるようになるかもしれません。そして、その活動することが自身の健康づくりにもつながるかもしれません。市民同士の話し合いには、自身の人生をより楽しく豊かにする可能性があるのではないのでしょうか。これからも、まちについての対話の場がありましたら、ぜひ積極的に参加していただけたら嬉しいです。

まだまだ、建物が完成するまでには時間があります。対話を重ねるだけでなく、活動の実践、新しい企画へのチャレンジなど、小さく色々なことを試していき、その中で新たなつながりが生まれ、建物がオープンした時に、今より一層、西京区での生活・暮らしが楽しくなっていることを願っています。全4回、皆さんと一緒に考えることができ嬉しかったです。ありがとうございました！

5 西京区役所からのお知らせ

8月から10月にかけて4回のワークショップにご参加いただきありがとうございました。皆さんのご意見を大切に受け止め、総合庁舎化の計画、そして設計へと活かしていきたいと考えております。今後は、今年度中に総合庁舎の計画を策定し、来年度以降に具体的なレイアウトも含めた設計を検討していきます。設計の段階においても、皆さんにご意見を聞くことを考えており、市民しんぶん区版やホームページ等でお知らせしていきますので、引き続き、新しい“西京区役所”に向けたご意見を賜りますようお願い致します。

スケジュール(1期目)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
西京区 総合庁舎整備	基本計画の策定	設計等	工事		供用開始

なお、ワークショップで頂いたご意見の中には、総合庁舎に関する以外に、行政施策全般に関する、例えば、子育てや教育環境の改善、防災機能の強化、高齢者福祉の充実などのご意見も頂いております。こちらの意見についても、西京区政への貴重なご意見として、来年度策定予定であります、「西京区基本計画」に活かしていきます。どうもありがとうございました。